

市テーマソング、歌唱リレー動画公開

街を元気づけたいと伴奏含め職員が手掛ける

◎動画キャプチャ画像あり

市は11月5日、市テーマソング「この街が好き」を職員がワンフレーズずつ歌うリレー動画をYouTube市公式チャンネルで公開した。新型コロナの長期化により、関連業務で疲弊している職員や不安を感じている市民らへ明るい話題を届け、市役所庁内だけでなく街全体を元気付けたいと企画したもの。動画には新型コロナ関連業務の最前線である保健所やワクチン接種対策室の職員も含めた総勢38人が出演した。全てが手作りで、ピアノ・ギター・ベース・ドラムといった伴奏も職員が演奏。編集は広報プロモーション課職員が担当した。全4分37秒。

また、本動画とは別に市テーマソング公式ボーカリストが何度も歌唱し、一番納得のいった最後の収録をTHE LAST TAKEと題し公開している。



▲職員らによる歌唱リレー動画



▲市テーマソング公式ボーカリストの歌唱を一発撮り風の動画 (THE LAST TAKE)

- ★ 出演者は保健所やワクチン接種対策室を含めた様々な部署の職員。役職や部署を越え一丸となって取り組んだ。担当者は「歌や演奏を通して自分の心が温かい気持ちになった。音楽の力を借りれば歌詞に載せて思いがより伝わると感じた。職員をはじめ市民らにも明るい気持ちになってもらえればうれしい」と話す。
- ★ 制作にあたっては、楽器ごとに演奏を収録。職員の歌唱も一人ずつ撮影し、一つの動画に編集した。歌唱に参加した職員は「実際に歌い改めて曲への愛着が湧いた。明るい話題が少ない中だったのでとても楽しかった」と話す。今後、保健所の職員だけで歌唱するバージョンの動画も公開予定。

(2ページ目へ)

- ★ 本動画とは別に、大人気 YouTube チャンネル「THE FIRST TAKE」をオマージュした「THE LAST TAKE」も制作。市テーマソング公式ボーカリストの古谷萌佳（ふるやもえか）さんのソロ歌唱を何度も撮り直し、一番納得のいった最後の収録を公開している。今後、もう一人の公式ボーカリスト根川萌（ねがわもえ）さん、職員がソロで歌うバージョンも公開予定。
- ★ 市テーマソング「この街が好き」は、2019年に市PR大使のフォークデュオTANEBI（たねび）が制作。子どもたちをはじめ枚方に住む多くの人が曲を通じて街への愛着を高め、市外へも広くPRすることを目的とした。制作過程では多くの市民から枚方への思いなどを聞き取り、歌詞の中には「河川敷」や「観覧車」など淀川やひらかたパークを連想させるワードが登場する。現在では、地元の合唱団体や手話グループ、盆踊りチームなどでも使われるなど広がりを見せている。
- ★ 令和元年度からは、日経新聞社が主催する企業や団体の歌を競うイベント「NIKKEI社歌コンテスト」に同曲の動画でエントリーし、一昨年度は自治体として初めて「歌詞に名言賞」を受賞した。今年度も同コンテストにエントリーしている。投票期間は11月5日～19日。
- ★ それぞれの動画はYouTubeの市公式チャンネル（<https://www.youtube.com/user/hirakatacity>）で公開している。下記コードからも視聴可。



▲職員リレー動画



▲THE LAST TAKE

<お問い合わせ>

市長公室 広報プロモーション課 ☎ : 072-841-1258、FAX : 072-846-5341